

高月小だより

長浜市立高月小学校
平成 27年6月1日
校長 北村 諭 No3

『よいところだけに目を向ける』

最近読んだ本の中に「相手の長所を何度も褒めてあげれば、その人の長所は磨きがかかるし、あら探しをすれば、いくらでもあらは見つかる」という文がありました。なるほど…とは思ってもこのことを実践するのは随分と難しいことです。

今、「自尊感情の育成」という言葉を教育界ではよく使います。自尊感情とは、自分が尊い存在であるという認識を自分自身が持つということです。そして、その認識は、周りから大事にされているという思いから生まれるものだと言われています。

また、自尊感情を育てる褒め方には二通りあり、その一つめは、「テストの点数がよかったね」「水泳の記録が伸びたね」というものです。これは、折れやすい自尊感情を育てることになります。テストの点が下がり、記録が伸びなければ、それは当然、なくなってしまうからです。もう一つは、「あなたが大切なんだよ」「どうであっても、あなたのことが好きだよ」という褒め方です。これは、点数や結果で人間の価値を計りませんので、折れることはありません。「命が大切だ」そんなこと何回も言われるより、「あなたが大切だ」誰かがそう言ってくれるだけで生きていける」そんなキャッチコピーがありましたね。難しいですが、そんな目で、人を、子どもを見ていければと自戒を込めて思っているところです。

『国際理解教育』

学校にはたくさんの「〇〇教育」と呼ばれるものがあります。その中の一つに「国際理解教育」があります。

異国の人の考えや文化を理解するとと

もに日本の文化や伝統を大事にする心を養うことがねらいとされる教育です。

実は、この後者が最近どうも危うくなってきているように思われるのです。クリスマスやバレンタインデーもよいのですが、我が国が大事にしてきた、季節に寄り添うという文化、伝統を忘れていてはないかと危惧するのです。

みなさんは二十四節気という言葉をご存じですか。「暦の上では、今日は立春です」と言い方をしますが、これが二十四節気です。一年を24に分けた季節のことで、「立春」に始まります。二十四節気をさらに3分したのが七十二候と言い、この二つから「気候」という言葉ができたそうです。

6月6日は、二十四節気では耳慣れない言葉ですが「芒種」(ぼうしゅ)『芒(のぎ):稲科の植物についている針のような突起のこと』のある穀物や稲、麦の種をまく季節」という意味です。そして、22日は、これはよく知られている夏至になります。

昔の人は今よりずっと不便で、自由な時間も少なかったはずです。しかし、ささやかな季節の巡りを感じ、心をなごませ、心豊かに過ごしていたのでしょね。

私たち現代人も、季節の移ろいを感じ、暮らしを楽しむという日本の古きよき文化、伝統を大事に味わいたいと思います。

『6月の行事予定』

3日(水) リレー大会

8日(月) ~13日(土)

6月の読書週間

9日(火) イングリッシュデー(6年)

13日(土) 土曜授業 授業参観

15日(月) 学校運営協議会

24日(水) 歌の日

25日(木) 子育て相談日 集金日

5月27日(水) 28日(木)の2日間、高月学区の4小学校6年生108名全員が参加し、無事修学旅行を終えることができました。しっかり学び、大いに楽しんだ2日間でした。

